

関西G空間フォーラム

2014

関西G空間フォーラムは、地理空間情報に関わるさまざまな分野の技術開発と学術・研究、ならびに関連産業の動向に関する情報提供・意見交換等を一堂に会して行うことで、関西における地理空間情報について現状を認識するとともに、産学官の間で共有化を図り将来を展望することを目的としています。



G空間EXPO2014で表彰された電子国土賞受賞作品を紹介したパネルを展示します。

※案内図は、地理院地図を使用しています



※受付は、4階です。

■**地理空間情報関連の機器・システム等の展示会**

(9:30~17:00)

(公社) 日本測量協会関西支部

(一社) 大阪府測量設計業協会

■**合同シンポジウム** 事前申込が必要です

・**測量技術講演会** (9:40~11:45)

国土地理院近畿地方測量部

(公社) 日本測量協会関西支部

・**関西地域GIS自治体意見交流会**

(13:15~16:30)

(一社) 地理情報システム学会関西支部

*GIS上級技術者申請の際、貢献達成度ポイントになります。

会場へのアクセス

●**築業年金会館**

〒542-0012大阪府中央区谷町6-5-4

TEL 06-6768-4451

*地下鉄[谷町六丁目]駅4号出口 地上 左手すぐです。

*会場に駐車場はありませんので車でのご来館はご遠慮ください。

関西G空間フォーラム

検索

日時：平成26年11月27日(木) 9:30~17:00

会場：築業年金会館 入場無料

*全てにどなたでも参加いただけます

主催：国土地理院近畿地方測量部 (一社)地理情報システム学会関西支部

(公社)日本測量協会関西支部 (一社)大阪府測量設計業協会

協賛：(一社)日本写真測量学会関西支部

後援：大阪府 大阪市 (一社)京都府測量設計業協会 (一社)滋賀県測量設計技術協会

(公社)奈良県測量設計業協会 (一社)兵庫県測量設計業協会

(一社)和歌山県測量設計業協会 (公財)日本測量調査技術協会近畿ブロック委員会

関西G空間フォーラム2014 プログラム

9:00～ 9:30～ 9:40	受付 4階 開会式(301号室) 開会挨拶	(一社)地理情報システム学会 関西支部長 大阪工業大学工学部都市デザイン工学科教授 吉川 眞
---------------------	-----------------------------	---

9:30～17:00 地理空間情報関連の機器・システム等の展示会(401・402号室)

第1部 合同シンポジウム(301号室) 第33回測量技術講演会		
9:40～ 9:45	開会挨拶	国土地理院 近畿地方測量部長 畠山 裕司
9:45～10:25	特別講演 「新たな基本測量に関する長期計画と国土地理院研究開発基本計画」	国土地理院 参事官 村上 真幸
10:25～11:05	「国土地理院のウェブ地図サービス」～地理院地図・地理院タイルの提供～	国土地理院地理空間情報部 情報普及課課長補佐 伊藤 裕之
11:05～11:45	「国土地理院が提供する活用ツール」	国土地理院近畿地方測量部 地理空間情報管理官 徳永 和典
11:45～13:15	休憩(地理空間情報関連の機器・システム等の展示会の見学をお願いします)	

第2部 第15回関西地域GIS自治体意見交流会		
13:15～13:25	開会挨拶	(一社)地理情報システム学会 関西支部長 大阪工業大学工学部都市デザイン工学科教授 吉川 眞
13:25～13:45	「GISを利用した平時・非常時の官民情報共有システムの構築と運用について」	大阪府 岸和田土木事務所 矢野 定男
13:45～14:05	「室蘭市全庁型統合GISとオープンデータ」	北海道 室蘭市 企画財政部 企画課 丸田 之人
14:05～14:20	休憩	
14:20～14:40	「和歌山県の森林GISについて」	和歌山県 農林水産部 森林・林業局 丸本 一樹
14:40～15:00	「地域社会インフラにおけるGISの適用と3次元」	関西大学 都市工学部都市システム工学科准教授 窪田 諭
15:00～15:15	休憩	

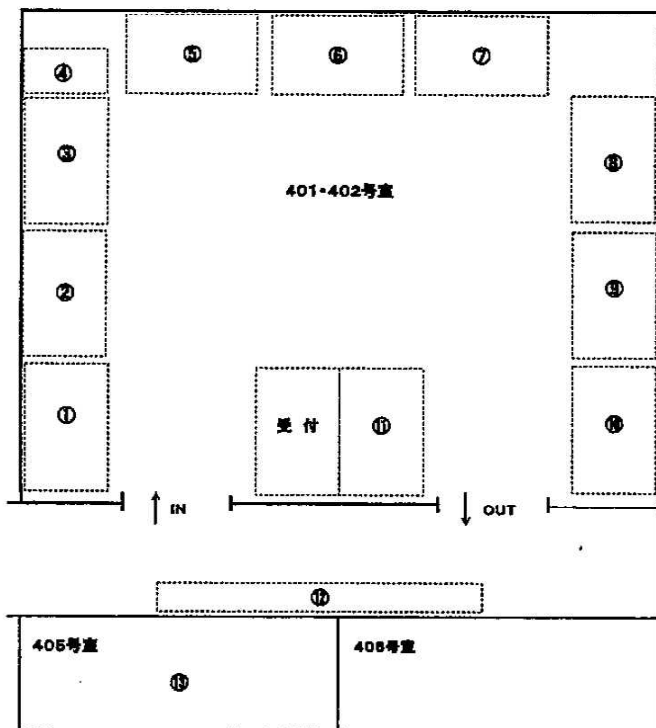
第3部 パネルディスカッション「自治体の未来とGIS」		
15:15～16:25	パネルディスカッション「自治体の未来とGIS」	コーディネータ : 富田林市 上下水道部 下水道管理課 浅野 和仁 パネラー : 第2部発表者(矢野、丸田、丸本、窪田)及び第1部講演者(伊藤)
16:25～16:30	閉会	

16:30	閉会式(301号室) 閉会挨拶	(一社)大阪府測量設計業協会会長 北川 育夫
-------	--------------------	------------------------

地理空間情報関連の 機器・システム等の展示会

4 階
401・402・405号室
(9:30~17:00)

会場見取り図



番号	出 展 企 業 名	出 展 内 容
①	㈱かんこう	UAV等によるリモートセンシングと写真測量 UAVは調査業務から設計業務まで幅広い利用が可能である。GPSを搭載したUAVは、人間が立ち入ることができない場所や、直接見ることができない場所も容易に飛行することができ、撮影した動画・静止画を無線で転送することにより、離れた場所でも撮影位置を把握しながら、状況確認を行う事ができる。 このUAVを利用した「土砂災害状況調査」や、同じく遠隔操作できる高所カメラ車による、「点検調査」の展示を行います。 ・ UAV機種の展示 ・ UAVによる動画撮影及び静止画撮影とデータ処理の解説 ・ UAVによる土砂災害状況調査の実施状況及び3次元地形モデルの解説 ・ 高所カメラによるクラック等の画像判読調査
②	㈱コノユ	測量明示用品 コノエハンマードリル I Cタグ関連商品
③	㈱GIS関西	災害情報共有システム 災害時にどこで何が起きているのかを共有サイトに登録、把握するためのWebシステムの展示 道路規制情報登録閲覧システム 交通規制・迂回路情報を共有サイトに登録、把握するためのWebシステムの展示 DXF出力システム 地理院地図を活用し、基礎地図情報をDXFファイルとして出力可能なWebシステムの展示 タブレット端末を用いた現地調査システム 端末に個人情報等を残さずに、Webシステムにより個人情報資料の調査・閲覧を行うWebシステムの展示 位置参照点閲覧システム フリーのGISエンジンを使用した、簡易データ登録・閲覧システム
④	(・社)大阪府測量設計業協会	災害情報共有システムの紹介
⑤	㈱井コンピュータ㈱	BLUETREND-XA2014 フィールドワークからオフィスワーク、データの管理・活用連携まで測量業務をサポートします。 EX-TREND武蔵 加速する情報化施工と総合評価に対応するための土木施工管理システム X-FIELD コンパクトで高性能な観測システムで、フィールドワークを快適にします。 X-POINT CIMの一貫として期待される点群データを取り扱う3D点群処理システム。
⑥	㈱神戸清光	測量機 (トータルステーション等) UAV (ラジヘリ)
⑦	㈱アスコ	無人飛行体 (UAV) の活用事例 資本整備の多くの場面で活用 ・ 災害現場の状況の早期把握 ・ 災害査定資料の作成 ・ 維持管理 (対象物の撮影及び多様なセンサー) 等 UAV等の最新技術を、観て、触れることが可能
⑧	アジア航測㈱	レーザ計測の活用 走行しながら道路周辺の3次元情報 (地形・地形情報・画像) を取得します。 国内最大級の点群密度で大縮尺地図の計測や道路のストック点検に利用できます。 3Dモデリング 直観する写真から3D空間データを自動作成する技術により、早く、リアル、リーズナブルで3Dモデルを作成し、防災状況のいち早い判断や景観評価、危機管理、道路・橋梁等社会基盤の維持管理など、幅広い分野において活用できます。
⑨	㈱パスコ	移動体管理システムと住民公開型GISの紹介
⑩	四国航業㈱ 西日本事業本部	Genavizシリーズ 四国航業の最新版統合型GISソリューション“Genavizシリーズ”をご紹介します。 ・ 行政業務をトータルに支援 ・ 統合型GIS SonicWebシリーズ (SonicWeb・i/EXT/cloud/モードバリエーション) 防災減災・アセットマネジメントへの取り組み 最先端の各計測技術 (UAV、MMS、海洋VIIFレーダー、GPSモニタリング) を用いて災害事象や道路・河川構造物の現状調査を効果的に実施、取得された計測データを解析・分析することによって、災害の現象把握、被害の規模予測、対策検討、施設の維持管理など様々な用途に資するものとします。 また、取得情報の管理においてはAR (拡張現実) として可視化を図るなど情報の蓄積・管理手法にも工夫をこらし、計画・計測から対策調査・維持管理・情報の可視化と蓄積・モニタリングまで、トータルソリューションを図る技術展示を行います。
⑪	関西工事測量㈱	・ ひび割れ計測システム「KUMONOS」 新技術情報提供システム (NET I S) にて準拠技術に選定いただいている計測システムです。 ブースでは、「KUMONOS」を実機展示と共に、先日公開になった「コンクリートのひび割れについて遠方より検出が可能な技術」の評価結果についてもご紹介をさせていただきます。
⑫	(公社)日本測量協会	近年高度化した測量及び地理空間情報技術に対して、測量機器・測量成果等の検定、コンサルタント業務及び衛星測位情報の提供サービス等は必要不可欠となっています。 これらの業務について、パネルを展示し説明を行います。
⑬	国土地理院 近畿地方測量部	電子国土賞のポスター展示 地理空間情報の利活用等の紹介 ・ 「地理院地図」及び「地理院マップシート」の紹介